

# 競技会用音楽再生アプリ 杏(anzu) (R45 以降の)仕様と説明 Ver3.0

赤字は Ver2.9 から 3.0 への変更点

2026.1.24

福島俊隆

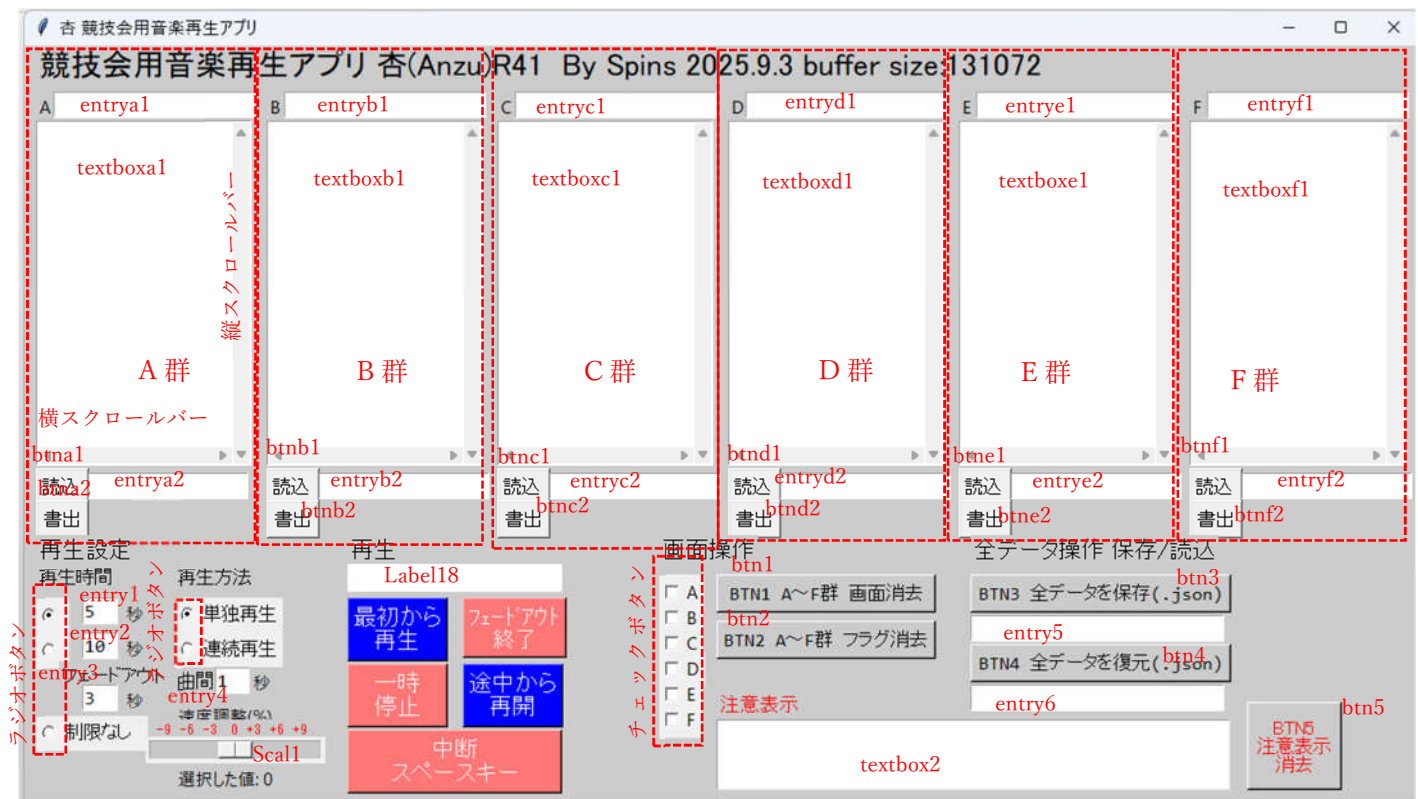


図1 起動時の画面 (画面は R41)

## 1 このアプリの目的と製作理由、特長

### [経緯]

- 私の所属していた千葉県のダンススポーツ連盟では、競技会では曲種で分けた MD と複数の再生機を使用して音楽を再生していました。MD 機器の故障も多く、MD からパソコンによる再生に早く移行する必要があると思いました。また従来の方法からスムーズに移行するため、再生アプリに現在の MD 再生機に近い操作性が必要であるとも考えました。しかしながら現時点ではそういう再生アプリは存在していないため今回音楽再生アプリ「杏(anzu)」を作成することにしました。

### [特長]

- 6個の画面 (テキストボックス) があり、それぞれの画面に音楽ファイル (mp3 または wav のみ) をドラッグ・アンド・ドロップ (以下 DnD と呼称する) して順に並べることができます。画面は左から A 群、B 群、C 群、D 群、E 群、F 群と呼びます。
- 想定している使い分けの例 各群の使い分けとしては以下の様な内容を想定しています。  
「競技会 スタンダード」では、A: ワルツ B: タンゴ C: ヴィエニーズワルツ D: スローフォックストロット E: クイックステップ F: その他 (休憩時間、ブルース、など)  
「競技会 ラテン」では、A: サンバ B: チャチャチャ C: ルンバ D: パソドブレ E: ジャイブ F: その他 (案内、ジルバ、マンボなど)  
「ダンスパーティ」では A: ダンスタイム 1 B: ミキシング C: 10 ダンス D: ダンスタイム 2 E: ラストワルツ F: その他 (ブルース、ジルバなど)

- ・曲の再生時間を一律に設定することができるので、予め曲の長さを短くしておく必要がありません。たとえば予選は 75 秒、決勝戦は 90 秒と設定しておけば 75 秒または 90 秒のボタンを押すだけで再生時間が変更できます。
- ・各群での曲数の制限はありません。ただし曲が多くなると動作が重くなります。曲の番号は 3 桁表示としています。
- ・曲の番号を分けることにより、1~19 は N（ノービス）と数字級、21~99 は一般級、101 以降はオナーダンス・デモ用などとして区別して使うことができます（この番号の編集作業は一旦エクセルに書き出しておこないます）。また 1~19 はワルツ、20~30 をタンゴなどの様に使うこともできます
- ・連続して音楽ファイルを再生するときには設定された無音時間を自動的に挿入することができます。
- ・DnD された曲を含めて全ての設定項目とフラグを保存して、またその保存された内容を復元することができます。

## 2 使い方

- ・圧縮ファイルは解凍して適当なフォルダに置いてください。レジストリは使用しませんので不要な時はフォルダごと削除してください。
- ・MaCafee などのマイクロソフト以外のセキュリティソフトがあると解凍後実行できないか、exe ファイルが削除されることがあります。その場合には該当するセキュリティソフトを一時停止するかアンインストールしてください。アンインストール後は windows の標準セキュリティソフト Defender が起動します。一般家庭などでの使い方では Defender 以外の有料セキュリティソフトを使う必要はありません。
- ・MP3 ファイルの（一部で）再生時間取得に ffprobe.exe を使用します。杏と同じフォルダにいらしてください。**また環境変数の設定もお願いします。**
- ・youtube などの視聴で音が出ない状態のとき杏を起動するとエラーが表示されることがあります。
- ・windows の設定>アクセシビリティ> テキストのサイズ を大きくすると画面の配置がくずれます。
- ・R38 から anzuRxx.exe は実行ファイルの他にフォルダ[\_internal]とファイル ffprobe.exe が必要になります。前者は実行処理の高速化のために今迄は一つの実行ファイルにまとめていた物を分離しました。後者は mp3 ファイルの再生時間をより正確に推測するために用いています。anzuRxx.exe と同じフォルダの中に入れてください。
- ・音飛び・息継ぎ(短い時間音楽が途切れること)対策は行っていますが発生しないことの確認が難しい状態です。処理能力の低いパソコンでは処理が追いつかず息継ぎが発生する可能性があります。パソコンの性能は、windpws11 の正規適応条件を満たしているパソコンでかつ、ストレージは SSD、メモリ 8 GB 以上、CPU coei5 または Ryzen5000 番台以降を勧めます。

## 3 音楽ファイルの登録機能

### [曲の登録]

- ・エントリーentry\*1(\*は a~f)には任意の文字（ワルツ、タンゴなど）を記入することができます。
- ・音楽ファイルとして wav と mp3 のみが扱えます。
- ・6 個の画面（テキストボックス textbox\*1 \*は a~f）に mp3 または wav ファイルをドラッグ・アンド・ドロップ（DnD）します。そのときファイルの番号と絶対パス（パソコン内でのファイルの住所に相当）が表示されます。
- ・ファイルが一つずつ DnD されたときは順番に画面に番号（初回は 1）と絶対パスが表示されます。複数の曲が DnD されると下に追加されていきます。

- ・複数のファイルが同時に DnD された時には絶対パスとファイル名を含めて昇順に表示されます。
- ・複数のファイルの入った一つのフォルダを DnD することもできます。その場合は、そのフォルダに入っているファイルが展開され、絶対パスとファイル名を含めて昇順に表示されます。複数のフォルダを DnD することはできません。
- ・番号と絶対パスが書かれているエクセルファイル（拡張子 xlsx）を杏に読み込むことができます。
- ・エクセルファイルを読み込んだ時はそれまでの表示（曲の一覧）が上書されます。
- ・読み込み時にはエクセルの番号は昇順になります。
- ・エクセルファイルを読み込む時、実際に存在しないパス、または mp3 および wav 以外のファイルがあるときは読み込まれません。またエクセルで保存したときに音楽ファイルのあったドライブ（D:ドライブなど）と同一でないとエラーになるため注意が必要です。特に USB メモリに入れたままパスを登録した時などは使用するパソコンによって USB メモリのドライブレター変化することがありますので使用前にドライブレターが同一か確認してください。
- ・エクセルファイルの読み込みに続けてファイルを DnD することができます。DnD された曲はエクセルで読み込んだ曲の番号に関係なく画面の一行目を 001 として番号が表示されます。

#### [注意]

- ・CD から直接 DnD で登録することはできません。一度 wav または mp3 形式のファイルに変換（リッピング）してから登録してください。

表 1 エクセルファイルの例 杏で読み込むと 1-11-19-51 の順に曲が登録される

1	C:/temp_music/チャチャチャ/16 C Bang Bang.mp3
51	C:/temp_music/チャチャチャ/17 C Sunny.mp3
11	C:/temp_music/チャチャチャ/18 C Traigo Une Pena.mp3
19	C:/temp_music/チャチャチャ/DSvol18016.mp3

#### [エクセルファイルへの書き出し・読み込み]

- ・通常使用する曲が多くなるに従って順番を入れ替えたいと思うときがあります。DnD したファイルの絶対パスを一旦エクセルのファイル（拡張子 xlsx）へ書き出して、エクセルで再生順番を編集してください。それを「杏」で読み込んで使用することができます。読み時は番号順に並び替えられます。
- ・エクセルファイルへの書き出しを行う場合は、書き出しを行う群の btn\*2 ボタン(\*は a~f)を押してフォルダとファイル名を指定してください。
- ・エクセルファイルへの書き出しは、姉妹ソフト花桃でも行うことができます。花桃では簡単な音楽再生機能のほか、(mp3、wav 以外も含めて) ファイル名の付け替え機能があります。
- ・再生中・一時停止中の群でのエクセルの読込は無効です。

#### [画面（群）の選択]

- ・画面（群）の移動は DnD によるか二つのキー、←キー（左まわり）→キー（右まわり）で行います。また各画面をマウスでクリックすることでも変更できます。マウスでクリックするとき曲のないところでは画面の移動のみ、曲の上では曲の選択ができます。選択された画面は背景が白から薄黄色に変わります。
- ・一時停止中に群の変更をした場合は以下の動作になります。  
「再開」:途中まで再生されていた曲が続きから再開します。enrtty\*1 は一時停止の薄赤から黄に変化しま

す。変更された群は薄黄色のままです

「再生」:変更された群の中で選択されている曲を最初から再生し、その群の entry\*1 は黄色になります。一時停止していた時の薄赤になっている entry\*1 は白に戻ります。

#### [曲の削除]

- ・登録された曲は、選択された状態（画面が薄黄色で文字が赤の状態）で Delete キーを押すと削除できます。
- ・再生中・一時停止中はこの操作は無効です。
- ・【注意表示】を BTN5 ではなく Delete キーで消した場合、選択されているグループの「選」フラグが付いている曲名が削除されますので注意してください。

#### [注意]

- ・画面（テキストボックス）の表示内容は、BackSpace と Delete キーで文字が削除できますがパソコン内部の情報と一致しなくなるので行わないでください。もし表示の一部を削除してもパソコン内部の状態は元のまま保たれます。

### 4 音楽ファイルの再生機能、フラグについて

#### [再生条件の設定]

- ・起動時の初期設定時間は以下になっています。また再生ボタンを押したときに各 entry が空白の時は初期設定値が代入されます。各設定時間は任意の数字に変更することができます。  
entry1 再生時間 5 秒  
entry2 再生時間 10 秒  
entry3 フェードアウト時間 3 秒  
entry4 曲間無音時間 1 秒
- ・再生時間は entry1 による設定時間、entry2 による設定時間または「制限なし」の3つの中から一つだけ選択可能です。
- ・entry1 または entry2 による設定時間を選んだ場合、再生中にその設定された時間に達するとフェードアウトに移行してフェードアウト設定時間経過後に停止します。
- ・連続再生と単独再生のどちらかを選べます。連続再生の時は entry4 で設定されている曲間の無音時間（0～9 秒）を追加することができます。
- ・再生時間、フェードアウト時間、曲間の無音時間は全て整数で記入してください。
- ・再生ボタンが押された時に、設定されている内容（再生時間、フェードアウト、通常再生か連続再生、曲間の無音時間）が読み込まれて反映されます。

#### [曲の選択とフラグ]

- ・A 群から F 群の画面に曲が DnD した後に、各画面で一番最初に再生する曲をマウスでクリックして指定してください。マウスでクリックすると色が赤に変わり「選」フラグが表示されます。ただし何らかの理由(音楽ファイルではなかった、など)で曲が存在しないときには「欠」フラグになります。
- ・再生が終わると今までの「選」フラグが「済」フラグに替わり、同じ画面の下にある未再生の曲に「選」のフラグが表示されます。このようにして同じ群の中で上から下へ移動していきます。もし「選」フラグが画面の一番下にあるときは次の「選」は付加されません。途中で「済」フラグのついた曲があると飛び越えていきます。

- ・曲の再生中もしくは一時停止中に同じ画面（群）の別の曲をクリックすると、クリックされた曲には「次」のフラグが付きます。曲の再生が終わると「選」が「済」となりかつ「次」が「選」になります。再生中に同じ画面の中で複数の曲をクリックしても、「次」フラグは最後にクリックした曲にのみ付加されます。
- ・「次」フラグがある状態で、同じ画面の中で曲のないところをマウスでクリックすると「次」は消去されます。
- ・再生中もしくは再生が中断された状態で「選」と「次」の両方が表示されている場合、違う群を選択したときにも「次」のフラグが消去されます。
- ・「済」のフラグが付いていてもマウスでクリックすると「選」に変わって再生できます。
- ・「欠」のフラグが付いているところは絶対パスに対象となるファイルが存在しない場合です。再生されません。

#### [再生中の表示]

- ・再生中は経過時間と再生しているファイルの再生時間が textbox1 に表示されます。曲の経過時間はフェードアウトまでが含まれます。一時停止中は経過時間に含まれません。
- ・設定された再生時間＋フェードアウト時間より元の曲の長さが短い場合は textbox1 には「再生時間 >>>> 元の曲の長さ」として表示されます。
- ・曲が再生されている間、対応する群の entry\*1（\*は a~f）のいずれかの背景が濃い黄色になります。また一時停止中は薄い赤色に変わります。時間が経過して再生が終了した場合または再生を中断したときは白色に戻ります。

#### [音楽関係ボタンの機能]

- ・「再生」ボタンを押すと選択されている群（テキストボックスで背景が薄黄色）の中で「選」フラグが立っている曲の再生が始まります。設定された時間が経過後、自動的に再生が終了します。連続再生の時も同様に選択されている群の曲が再生されます。「再生」ボタンをマウスでクリックする代わりに Enter キーを押しても再生します（R41 以降）。ただし画面の曲名にカーソルがある状態でエンターキーを押すと表示がずれてしまいます。その場合は事前に注意表示欄（textbox2）を一度クリックしてカーソルを移動しておくことでエンターキーを押しても表示がずれなくなります。
- ・再生中に「終了」を押すとその時点からフェードアウトが始まり、フェードアウト設定時間経過後に再生が終了します。
- ・再生中に「一時停止」を押すとその時点で再生が停止します。その後「再開」を押すと、停止したところから再生が始まります。一時停止中はボタンの色が濃い赤にかわります。
- ・一時停止中には曲の選定で「選」の移動はできません。一旦中断をしてください。
- ・再生、終了、再開での曲の終了時にはフラグが「選」から「済」に変わり、次の曲が「選」になります。
- ・再生中に「中断」ボタンを押した場合もしくはスペースキーを押した場合は、すぐに再生が中断されます。このときフラグの変化はありません。  
スペースキーを押した場合、カーソルが曲名のところにあると文字列に半角空白が挿入されますが、再生、エクセルファイルへの書き出し、全データ保存については正しい絶対パスが使用されますのでそのまま使用できます。
- ・曲が選択されていない状態（画面の色が薄黄色になっているが曲が選択されず赤にはなっていない）で再生をしようとすると、「曲を選択してください」と textbox2 に表示されます。

### [連続再生]

- ・連続再生を選択するとフラグに従って自動的に次の曲が再生されます。また既に説明した様に曲間には entry 4 にて設定された無音時間を挿入することができます。無音時間設定値の読込は、無音時間が挿入される前の曲が再生される直前です。従って再生中に無音時間を変更しても次の曲の再生までの無音時間に変更されません。
- ・再生が最後（一番下）の曲であるとき、再生終了後「選」フラグは「済」フラグに変わりますが新たな「選」フラグは付加されず停止します。一番上の曲には戻りません。
- ・連続再生時に次の曲が選択されないときは停止します。

### [速度調整]

- ・再生速度を -9、-6、-3、0、+3、+6、+9%に変更できます。速度を変更したファイル(speed\_changed.wav)を一旦作ってから再生するのでファイルを作る時間が（処理の速いパソコンでも）2～3秒かかります。処理時間は mp3 が wav に比べて長くなります（例 CPU が Ryzen5 7700X の場合、元の時間 2 分の wav で 1.4 秒、mp3 で 1.8 秒です）。処理時間は曲間無音時間とは別に必要です。処理能力の低いパソコンではより時間がかかります。曲を再生中に速度を変える様な使い方はできません。
- ・速度の変更処理を行っているため、元の曲に比べて音量・音質が多少変化します。
- ・競技会ではこの機能を使わないことを勧めます。

## 5 画面操作、画面もしくはフラグの消去

- ・「画面操作チェックボタン」には A～F があります。もし A と B 群の画面のみを消去したいときは、A と B のチェックボタンに✓を入れたあとに「A～F 群 画面消去」ボタン（ボタン 1）を押します。
- ・同様にチェックボタン A～F に✓をいれて「A～F 群 フラグ消去」ボタン（ボタン 2）を押すと選択された画面のフラグのみが消去されます。
- ・画面およびフラグの消去は、再生中・一時停止中は使用できません。

## 6 設定値の保存と読み出し

- ・使用前日までに全てのデータを保存しておけば当日は保存したデータを読み込むだけで準備が済みます。
- ・entry \* 1（\* は a～f）の値、読み込んだエクセルファイル名、DnD された曲名、各種設定値、フラグなどは、「全データを保存」ボタン（BTN3）を押すことにより json 形式のファイルで一括保存することができます。また保存したファイルは「保存されているデータを読込」ボタン（ボタン 4）を押すことにより読み出しが可能です。（R24 以前と R25 以降では保存ファイルの互換性はありません）
- ・たとえばラテン→スタンダード→ラテンなどの場合は、最初のラテン終了後に一括して保存しておき、2 回目のラテンの時に読み込めばまた続きから再生することができます。

### [注意点]

- ・保存の場合、曲そのものは保存されずに元の場所にあり絶対パスが保存されます。従ってデータの保存後に曲を移動するとデータを読み込んだ後に実際の時に読み込めなくなりますので注意してください。

## 7 注意表示

- ・操作中に注意事項があると「注意表示」書かれている textbox2 にその内容が表示されます。新しい注意事項



は常に一番上に表示されます。

- ・BTN5を押すと textbox2 の表示が消去されますが単に表示のみ消しているため、もし問題があればその問題は残ったままになります。

## 8 息継ぎについて

- ・特定の splsp パソコンで音飛び・息継ぎが発生する場合はそのパソコンの性能が不足していることが考えられます。性能を確認してください (2 参照)。

## 9 音楽ファイルの置く場所とパスの修正方法

- ・windows のパソコンでは音楽は「ミュージック」フォルダに入れることが推奨されています。絶対パスは以下になります。

C:¥Users¥xxxx¥music¥・・・ここで xxxx は taro など実際の使用者の名前になります。一人でしかパソコンを使わない時は問題ありませんが、杏のデータを複数のパソコンで共有する時は音楽（の絶対パス）を登録しても他のパソコンでは使用できません。そこでそのような時は C ドライブの直下（例 C:¥JDSF\_Music）に音楽ファイルを入れることを勧めます。（windows の標準的な使い方では音楽を含むユーザーが作成したファイルを C ドライブの直下に置くことは推奨されていません。）

- ・Users の下にあった音楽ファイルで杏のデータを作成した後に音楽ファイルを C ドライブに移動した場合は正しく動作しません。もう一度 DnD し直すか、エクセルで書き出してパスの一部を置換した後に杏で読み込ませます。

【例】 個人の user にあった音楽ファイルを C:/temp\_music に移動した

[元のエクセル]

C:/User/taro/music/waltz001.wav の場合、「C:/User/taro/music」を「C:/temp\_music」に置換します

[変更後のエクセル]

C:/temp\_music/waltz001.wav

注意 杏では階層の表記が「¥」ではなく「/」になっています。

## 10 曲の編集、エクセルについて

- ・曲の追加・削除・編集は追加の場合画面に曲を DnD してから一旦エクセルファイルにて書き出し、エクセルの画面で削除・入れ替え・番号の修正を行います。編集されたエクセルファイルを読み込む時は、番号が自動で昇順に並び替えられます。
- ・エクセルは基本の内容しか使用していませんので、マイクロソフト office はなく互換 office(無料もしくは有料：PplarisOffice など)で充分です。

## 11 バグ報告・要望

- ・本アプリは無料で使用することができますが、使用中に問題が生じて損失が発生しても補償いたしません。
- ・バグ、改善要望は以下へお願いします。バグについては発生したとき詳細な手順およびそのときの写真も一緒に送っていただくと改善作業の効率がよくなります。

製作 (Spins) 福嶋俊隆 [rxi06630@jf7.so-net.ne.jp](mailto:rxi06630@jf7.so-net.ne.jp) または [rxi06630@gmail.com](mailto:rxi06630@gmail.com)、ただし改善の約束はできません。

以上

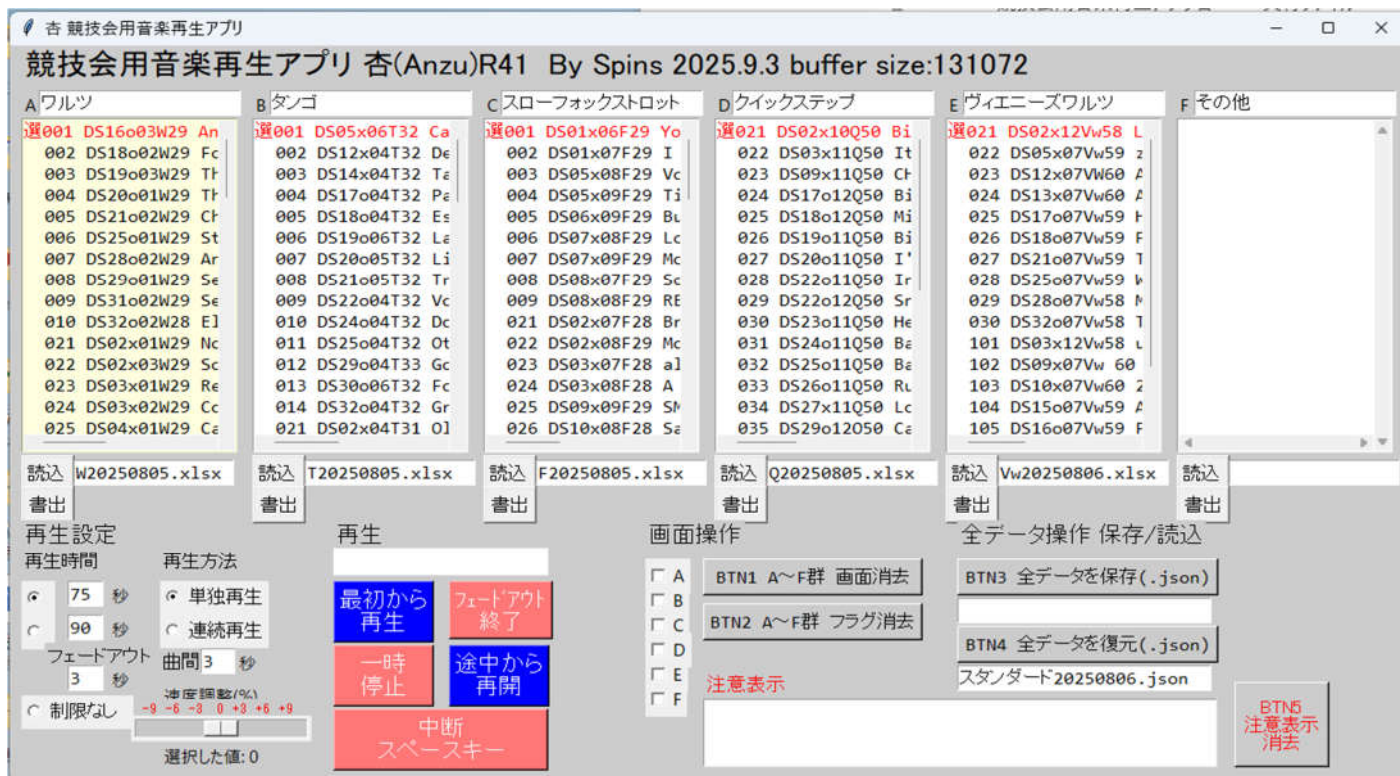


図 2 音楽再生時の画面表示例 (R41 ワルツ選択中)

以上